

研究テーマ ● 地域再生に活かせる「空間の美学的評価および創出方法」

理工学研究科（工学系）・建築学プログラム

教授 柴田 晃宏

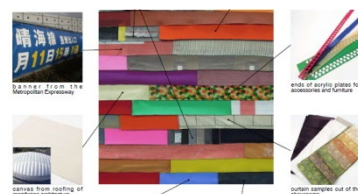
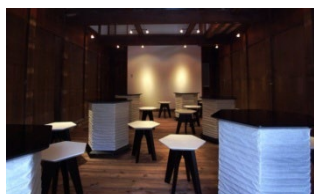
<http://www.aae.kagoshima-u.ac.jp>

研究の背景および目的

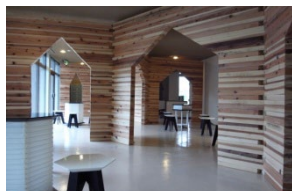
美しい街並みや建築、ワクワクする空間はどの様に生まれるのでしょうか。「美しさ」や「楽しさ」は感覚的あるいは個人的な趣味の問題と片付けられがちですが、多くの人々に共有される要素が存在しています。当研究室では、建築・インテリア・家具などの分野において形態の美学的要素についての研究を行い、その評価方法および創出方法の開発を目指しています。また研究で得られた知見により、豊かな空間を創出する実践的なデザイン活動にも取り組んでいます。

おもな研究内容

- 美濃和紙を使用した家具のデザイン
モダンなデザインによって伝統的な素材を活用し、美濃和紙利用の可能性を広げています。
- 産業廃材をアップサイクルしたオフィスのデザイン
産業廃材を再利用したデザイン。学生達とのワークショップによって製作しています。



- 小山高専図書館のインテリアデザイン
県産木材や間伐材など木材利用の活性化を狙ってデザインしています。
- まちづくりイベントのインテリアデザイン
安価な不織布を空間デザインに利用しローコストを実現しています。
- 住宅のリノベーションデザイン
使われていない古家をリノベーションによって再活用しています。



期待される効果・応用分野

*アップサイクル: 廃物や使われないものをより良い製品に変貌させて価値を高めること

美しいデザインはモノや建物に人々を引き寄せる魅力を与え、新たな価値を創造します。既往事例の調査研究とデザインやアイデアの提案によって、地域のまちづくりやイベント、素材・材料利用の活性化などの課題解決に寄与する研究と実践を行ってきました。和紙や木材だけでなく地域特産の様々な素材を活用したデザインにも対応できます。廃材や空き家・空き店舗などを、デザインの力で価値を高め再利用する、「アップサイクル(*)」による地域活性化策等の提案も可能です。

共同研究・特許などアピールポイント

- 美しいデザインは感動を与え、後世に残ります。良きモノはアイデアや技術だけでは成り立ちません。美しさを一つの機能として研究しています。
- 火山灰や竹、観葉植物など鹿児島特有の地域資源の建築等への活用も検討していきます。

コーディネーターから一言

建築・インテリア等の豊富な実践経験を基に、美的要素を科学的に分析。近年重要視される「デザインによる地域の活性化」に貢献する研究です。地域再生の取り組みや火山灰等地域素材の応用に協力できます。ご相談ください。

研究分野	建築設計、意匠論、空間構成
キーワード	デザイン、設計、リノベーション、住宅、インテリア、家具、インスタレーション